

自律型キャリア形成の 推進に向けた基盤整備

予測不能で変化の激しい時代の中で、主体的に自身のキャリアと向き合い、新たな価値を生み出し続ける人材の育成を目指し、研修制度を立ち上げ、キャリア面談を推進。従業員の意識改革に向け基盤を整えた。

▼
取り組み内容

Step 1
現状把握
と
課題整理

着任前に実施済みの従業員調査データを分析したほか、従業員のキャリア面談を通じ、課題を洗い出し。

Step 2
プログラム
策定

セルフブランディングの手法も活用しながら、自律型キャリア形成に向けたプログラムを策定。

Step 3
従業員の
意識醸成

プログラムのスタートに先駆け、自律型キャリア形成の重要性をキャリア面談や社内報などを通じて周知。

Step 4
プログラム
実施

従業員が自らの能力やスキルについて認識し、将来のキャリアイメージを描くワークショップ型研修を実施。

受入企業

田中精密工業株式会社

管理本部 管理部 部長 永川 賢治 さん (写真左)

管理部 主幹 松井 三枝 さん (写真右)

1948年創業の自動車部品メーカー。本田技研工業向けのエンジン関係部品を主力とする一方、近年では事業環境の変化を見据え、多種多様な部品の製造に取り組む。グループ企業のタナカエンジニアリングでは自動化設備や無人搬送車といったソリューション事業を手がけ、ホンダ自販タナカではホンダ車ディーラー9店舗を展開する。

協力研究員

嶋尾 かの子 さん (写真中央)

大阪府出身。大学卒業後、大学や企業研修の講師などを経験した後、むすび株式会社でブランディングディレクターとしてブランド戦略の立案などを手がけたほか、PwCコンサルティング合同会社で組織人事コンサルタントとして活躍する。2021年から個人事業主として、人材育成や組織開発のコンサルティングを提供している。

組織を強くする 自律型キャリア 形成の支援



取り組みの成果
・
今後の取り組み

- ・田中精密工業に合った自律型キャリア形成のファーストステップとなるプログラムをプランニングした。キャリア面談、社内報での情報発信にも取り組み、意識改革に向け社内の機運を醸成した。
- ・自律型キャリア形成を推進・定着させるにあたって重要になる従業員の強みを見える化し、自己表現力を強化するため、ワークショップ型研修を実施。全12回で約200人が受講した。
- ・研修は受講後のアンケートを基にブラッシュアップし、研究員退任後も総務課が推進する。

🐝 受入企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・自動車産業は大転換期を迎え、社内ではさまざまな改革に取り組んでいます。その一貫として、VUCA時代に対応した人材の育成を目指し、組織型キャリア形成から自律型キャリア形成への転換を進める中で、外部人材の経験や知見を活用したいと考え、参加しました。

評価（成果・社内変化など）

- ・自律型キャリア形成に向けた意識が芽生え、行動に表れるまでには長い時間がかかると思っています。今回の取り組みは言ってみれば、池に大きな石を投げたようなものです。当然、波紋が起きますが、現段階ではそれ自体が一つの成果だと考えています。
- ・これまで実施経験がない研修内容で心配もしましたが、嶋尾さんのスキルが高く、始まった瞬間から従業員が引き込まれる様子が見て取れました。真摯な姿勢で研修に向き合う従業員の姿に成長を感じました。
- ・富山“Re-Design”ラボは常駐型で取り組む点が一番のメリットだと感じました。そのおかげで、6カ月という短期間でプランニングから実行までスピード感をもって進めることができました。

今後の関わり方

- ・嶋尾さんとの契約はプログラムの終了で一区切りとなります。軸となるプランは策定していただいたので、今後のキャリア研修や面談は総務課が引き継いで実施し、嶋尾さんには必要に応じて力添えをいただきたいと思っています。

👤 協力研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・以前勤めていた会社では月に1、2回、顧客を訪問するかたちで、コンサルティングを提供していましたが、非常に物足りなさを感じていました。その点、富山“Re-Design”ラボは常駐型であり、もっと深く入り込んで仕事ができると興味を持ちました。

評価（取り組み・生活）

- ・企業からの要望やキャリア面談の結果を考慮し、従業員が自ら考え、自律的に行動するための土台を作れるようにプランを設計しました。研修では皆さん、とても真剣に前向きな姿勢で参加してくれました。
- ・県内の工場を回って従業員の皆さんから直接話を聞いたり、同じ空気を吸って率直に意見を交わしたりしながら、信頼関係を構築し、課題を深掘りできる点が富山“Re-Design”ラボの魅力だと実感しました。
- ・大学の講義は専門外の分野にも視野を開いてくれました。他の研究員との意見交換なども勉強になりました。東京と違い、空気がピリピリしてないので、お互いがリラックスした状態で話ができる点も、仕事を進める上でプラスに働いたと思います。

今後の展望

- ・今回策定したプログラムは、私が退任後も社内で自走できるような形で用意しました。今後は手が足りない場合やプログラムの見直しが必要なタイミングなどでお手伝いしたいと思っています。今後のコンサルティング活動にも今回の経験が大いに役立ちそうです。